

平成 22 年 12 月 16 日

会社名 アメリカン・インターナショナル・グループ・インク
 (コード 8685 東証第一部)
本店所在地 アメリカ合衆国 ニューヨーク州 10038 ニューヨーク
 メイデン・レーン 180
代表者の プレジデント兼最高経営責任者
役職・氏名 ロバート・H・ベンモシェ

問い合わせ 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー
先 アンダーソン・毛利・友常法律事務所
 弁護士 北澤 正明
 電話 (03)6888-1000

株主の皆様への通知（インフォメーション・ステートメント）
についてのお知らせ

アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（「AIG」）は、2010 年 12 月 10 日付けで米国証券取引委員会に提出した様式 8-K において、以下の内容のインフォメーション・ステートメント（「本ステートメント」）及びその添付書類を開示しています。本ステートメントは、2010 年 12 月 7 日現在の AIG の株主（主に米国内株主）の皆様に対して、2010 年 12 月 10 日前後に発送又は発信された通知をその内容とするものですが、日本の株主の皆様に対しては個別・直接に発送又は発信されていません。そのため、以下のとおり、本ステートメントの抄訳をここに開示し、本ステートメントの原文をその後に添付します。なお、本ステートメントの添付書類を含んだ通知全体の原文（英文）については、米国証券取引委員会のウェブサイト内の当該ページ（URL は下記）をご参照ください。

（<http://www.sec.gov/Archives/edgar/data/5272/000095012310112612/y87682bdef14c.htm>）

「

インフォメーション・ステートメント

本ステートメントに関連して
AIG の株主の決議及びその他の行為を必要としません

AIG は、株主の皆様にごプロクシーの提出をお願いすることではなく、
また、株主の皆様におかれましても、プロクシーを AIG に送付されないよう
お願いいたします

本ステートメントについて

全般

AIG が、下記で定義する本クロージングの規定が満たされることを条件として、下記の会社の活動（以下「本件発行」と総称する。）を実施することにつき、AIG の取締役会（「本取締役会」）がこれを承認し、また 2010 年 12 月 7 日（「本基準日」）現在の AIG の株主であって AIG の議決権の過半数を保有するトラスト（米国財務省を唯一の受益者として設立されたトラスト）である AIG クレジット・ファシリティー・トラスト（「本トラスト」）が書面で承諾（「本書面承諾」）したことを、本基準日の営業終了時現在の株主の皆様にお知らせするものです。

- ・ 1 株当たり額面 2.50 ドルの AIG 普通株式（「AIG 普通株式」）を次のとおり交付すること：(i) 1 株当たり額面 5.00 ドルの AIG のシリーズ C 永久転換可能参加型優先株式（「シリーズ C 優先株式」）の全発行済株式と交換に、AIG 普通株式 562,868,096 株を本トラストに交付すること、(ii) 1 株当たり額面 5.00 ドルの AIG のシリーズ E 固定利付非累積型永久優先株式（「シリーズ E 優先株式」）の全発行済株式と交換に、AIG 普通株式 924,546,133 株を米国財務省に交付すること、および(iii) 発行済みである 1 株当たり額面 5.00 ドルの AIG のシリーズ F 固定利付非累積型永久優先株式（「シリーズ F 優先株式」）と交換に、その対価の一部として AIG 普通株式 167,623,733 株を米国財務省に交付すること。
- ・ シリーズ F 優先株式の発行済株式と交換に、その対価の一部として、AIG の新たなシリーズの優先株式である「シリーズ G 累積的強制転換付優先株式」（「シリーズ G 優先株式」）20,000 株を米国財務省に交付すること。

本ステートメントは、1934 年証券取引法（以後の改正を含み、以下「証券取引法」という。）の規則第 14c-2 の要求するところに基づき、本書面承諾の対象の議案につき投票する権利があり、または当該議案について投票、承諾の付与または投票にかかる同意を行う権利がある AIG 普通株式保有者に配布されました。

本ステートメントは、まず、本基準日現在の AIG の株主に対して、2010 年 12 月 10 日前後に発送又は発信されます（抄訳者注：冒頭に記載したように、これは主に米国内株主の皆様への送付を想定した記載であり、日本における株主の皆様に対しては個別・直接に送付がなされません。）。AIG は、本件発行および下記に定義する本資本再構成のクロージング（「本クロージング」）は 2010 年 12 月 31 日前後または本クロージングの条件が満たされ、もしくは権利放棄された日以降に実施されると予測しています。

本書面承諾の理由

会社の活動の概要

2010 年 9 月 30 日に、AIG は米国財務省、ニューヨーク連邦準備銀行（「NY 連銀」）および本トラストと、2008 年 9 月 22 日付けのクレジット契約（以後の修正を含み、以下「クレジット契約」と言います。）の下で借り入れた全額の返済を含み、AIG の資本の再構成のための一連の取引（「本資本再構成」）に関連して基本合意（「本基本合意書」）を締結しました。その後、この本基本合意書に代わる (i) AIG、アリコ・ホールディングス・エルエルシー、エイ・アイ・エー・オーロラ・エルエルシー、NY 連銀、米国財務省および本トラストの間の基本取引合意書（「本基本取引合意書」）が 2010 年 12 月 8 日付けで締結され、(ii) AIG、米国財務省および NY 連銀の間で修正再表示株式売買契約（「修正株式売買契約」）が本クロージング以前に締結および交付される予定であり、また (iii) AIG および米国財務省の間で証券届出を行う権利を付与する契約（「証券届出権利契約」）が本クロージング以前に締結される予定です（本基本取引合意書、修正株式売買契約および証券届出権利契約を以下「本正式契約」と総称する。）。

資本再構成の目的は、2008 年 9 月以降 NY 連銀および米国財務省が AIG に対して行った財政支援を NY 連銀および米国財務省に対して全額返済し、AIG が議決権の過半数を政府に保有された政府支援企業から財政的に安定し独立した企業へ移行することを促進することです。

本書面承諾による会社行為

本基準日において、米国財務省を唯一の受益者として設立された本トラストは、本基準日現在のシリーズ C 優先株式の全発行済株式数 100,000 株を保有しており、同日現在、いかなる個別の議案についても AIG の株主全体が有する議決権の約 79.75%を有していました。本基準日において、本トラストは、AIG に本クロージングの規定が満たされることを条件として本件発行を承認する旨、本書面承諾に署名しました。

投票および必要投票権数

AIG は、株主の皆様の本件発行について承諾、許可又はプロクシーの提出をお願いしておりません。デラウェア州一般会社法（「DGCL」）の第 228 条および

AIG の附属定款第 1.11 条に基づき、本来は定時または臨時株主総会で株主決議を得なければならない議案について、これらの株主総会で決議を行うために必要な議決権の数以上の発行済株式数を保有する株主からの承諾書面をもって実際の決議に代えることができます。

ニューヨーク証券取引所上場会社マニュアルの第 312.03 条に基づき、本件発行前に、投票する本基準日現在の AIG 普通株式およびシリーズ C 優先株式の各株主が、一つの株主クラスとして、本件発行を承認しなければなりません。以下で述べるとおり、本トラストは、シリーズ C 優先株式の単独の株主であり、AIG の株主の議決権の過半数を保有していることから、第 312.03 条の要件を満たすためには、本件発行に関して本トラストから本書面承諾を得れば足りません。

本基準日現在、AIG 普通株式は 140,029,615 株発行され、議決権を有しており、これは本基準日現在の株主 44,862 名に保有されており、シリーズ C 優先株式は 100,000 株発行され、議決権を有しており、これは本トラストのトラスティーに保有されていました。AIG 普通株式 1 株には 1 個の議決権が付与されています。シリーズ C 優先株式には、1 株当たり約 5,515.1817 個の議決権が付与されています（シリーズ C 優先株式全体では、合計 551,518,174 個の議決権が付与されている。）。本基準日現在、本トラストは、シリーズ C 優先株式の単独の株主として、いかなる個別の議案についても、AIG 株主全体の議決権の 79.75%を保有していました。これにより、本トラストが署名した本書面承諾は、本件発行の承認として十分であり、さらなる株主による行為は不要です。

AIG の附属定款および DGCL に基づく通知

DGCL 第 228(e)条および AIG の附属定款第 1.11 条により、AIG は、会社の活動の実行について書面で承諾しておらず、かつ株主総会が開催されて決議が行われていれば当該株主総会の招集通知を受領することができた AIG の株主に対して、会社の活動を実行する旨速やかに通知することが要求されます。この通知および本ステートメントは、DGCL 第 228(e)条および AIG の附属定款第 1.11 条に基づき必要とされる通知（「本通知」）を兼ねています。

本資本再構成

本資本再構成取引の概要

背景

2009 年度後半、AIG および米国財務省は、米国財務省、NY 連銀および本トラスととの間においてクレジット契約に基づく借入金を返済し、政府に AIG との所有関係の終了を許可するために、可能な取引を検討する協議を開始しました。2010 年 4 月、本取締役会は、可能な取引を評価するために、外部の取締役のみで構成された委員会である、政府返済委員会を設置しました。政府返済委員会は、ダグラス・スティーランド氏を会長とし、ヘンリー・ミラー氏、ロバート・S・"スティーブ"・ミラー氏（本取締役会会長となるまでの間。それ以降は、職権上のメンバーとなる。）およびクリストファー・リンチ氏で構成され、モリス・オフィット氏および本取締役会の会長を職権上のメンバーとしています。

AIG は、メリル・リンチ・ピアス・フェナー・アンド・スミス・インコーポレイテッド（「BofA メリル・リンチ」）およびシティ・グループ・グローバル・マーケッツ・インク（「シティ・グループ」）をフィナンシャル・アドバイザーとして迎え、政府返済委員会は、独立フィナンシャル・アドバイザーとして、独立顧問およびロスチャイルド・インク（「ロスチャイルド」）を迎えました。ロスチャイルドは、BofA メリル・リンチおよびシティ・グループによる行為の評価および委員会の分析の補助を目的として採用されました。

AIG は、米国財務省、NY 連銀および本トラスのトラスティーとの間において、様々な提案に関する協議を開始しました。協議は複雑なもので、夏季を通して継続されました。政府返済委員会は、通常少なくとも週一回は開催され、協議の状況を常に把握するために、必要に応じて追加の会議を開催しました。

協議の末、経営陣は、政府返済委員会に対し、本基本合意書（後に本正式契約に引き継がれた。）を承認するよう勧告しました。当該勧告には、以下の要素が含まれています（以下に詳述。）。

- ・ NY クレジット融資枠の返済および終了（後述）
- ・ SPV 優先株式の買戻しおよび交換（後述）
- ・ AIG のシリーズ G 優先株式の発行
- ・ シリーズ C、E および F 優先株式の AIG 普通株式への転換
- ・ AIG 普通株式を購入するための AIG 株主に対する本ワラントの発行

政府返済委員会は、経営陣の上記勧告を考慮する際に、シティ・グループおよび BofA メリル・リンチの各社から意見書を受け取りました。かかる意見書では、意見書の日付現在において、意見書に記載される前提および制限に従うことを条件として、シリーズ E 優先株式およびシリーズ F 優先株式を AIG 普通株式と交換することに関連して AIG が支払う対価、ならびに AIG 普通株式保有者に対して追加的に AIG 普通株式を購入する権利を付与するワラントの発行に関し、財務上の観点から見て、全体として、AIG 普通株式保有者（米国財務省は除きます。米国財務省に関する意見は求められておらず、意見も表明されなかった。）にとって公正であった、と述べられております。シティ・グループおよび BofA メリル・リンチが提出したフェアネス・オピニオンでは、シリーズ C 優先株式を AIG 普通株式に交換することが公正であるか否かについては意見が述べられていません。政府返済委員会は、本トラストが、シリーズ C 優先株式と交換に受け取った AIG 普通株式の数は、以前に合意された算出法に基づくものである（すなわち、当該普通株式の数は、本トラストが、シリーズ C 優先株式がその規定に従い交換されていれば受け取っていたであろう AIG 普通株式の数に基づいて決定されたもの。）ため、かかる交換につき、フェアネス・オピニオンは必要ではないと判断しました。シティ・グループおよび BofA メリル・リンチは、各社の意見書を本通知および本ステートメントに、添付書類として組み込むことに合意しています。また政府返済委員会は、独立顧問であるロスチャイルドから意見書を受け取り、かかる意見書には、これに記載された前提条件、必要条件および制限に従い、シティ・グループおよび BofA メリル・リンチが提出した意見書は、財務上の観点から見て公正であると述べています。ロスチャイルドは、それぞれの意見書を本通知および本ステートメントに、添付書類として組み込むことに合意しています。財務顧問からの意見およびロスチャイルドからのレターは、本資本再構成を検討する上で、本取締役会および政府返済委員会各々への情報および支援（意見書内の対象に限定されている。）を提供しました。かかる意見書およびロスチャイルドのレターは、政府返済委員会および本取締役会が、本資本再構成を勧告および承認するにあたり、検討した一つの要素となりました。かかる意見書およびロスチャイルドのレターは、本取締役会または AIG の株式保有者に対して、本資本再構成および本資本再構成の具体的な条件について勧告するものではありません。さらに、政府返済委員会は、シティ・グループおよび BofA メリル・リンチからの、本基本合意書に含まれる、キャピタル・マーケット取引に関する意見を考慮しました。経営陣の勧告、各社の意見書、助言およびその他の要因を検討し、政府返済委員会は、全会一致で、本基本合意書を承認するよう、本取締役会に勧告しました。本取締役会は、政府返済委員会に提供されたものと同じ情報を検討し、政府返済委員会からの勧告を考慮し、本基本合意書を全会一致で承認し、当該合意書は 2010 年 9 月 30 日に締結されました。この合意書は、後に本正式契約に引き継がれました。

本資本再構成取引

本クロージングとほぼ同時に実行される予定の本資本再構成取引は、以下の

とおりです。

NY 連銀クレジット融資枠の返済および終了

本クロージングに AIG は、AIG および NY 連銀間のクレジット契約（「NY 連銀クレジット融資枠」）に基づく借入額のすべてを NY 連銀に現金で返済し、これにより、NY 連銀クレジット融資枠は終了する予定です。2010 年 9 月 30 日付けで、NY 連銀クレジット融資枠の返済すべき総額は約 200 億ドルでした。返済に充てる資金は、それぞれ、2010 年 10 月 29 日および 2010 年 11 月 1 日に完了した、エー・アイ・エー・グループ・リミテッド（「AIA」）普通株式の 67 パーセントの新規株式公開における株式売却およびアメリカン・ライフ・インシュアランス・カンパニー（「アリコ」）の売却から得られる現金純収入から拠出されます。AIA の新規株式公開およびアリコの売却から得られた現金純収入は約 270 億ドルとなり、その一部は、AIA およびアリコの売却からの利益を保有する特別目的会社（「SPV」）からの、担保付制限償還ローン（「SPV 会社間ローン」）の形で、（NY 連銀クレジット融資枠の返済のために）AIG に貸し付けられます。現金純収入の残額である約 70 億ドルは、SPV の有限責任会社規約の規定に従い、SPV により、NY 連銀へ配分されます。

NY 連銀クレジット融資枠が返済され、終了したときに、残存する未償却の前払約定手数料資産（2010 年 9 月 30 日現在、約 47 億ドルであった。）は、すべて、利益にかかる費用という形で、AIG が清算します。

SPV 優先持分の買戻しおよび交換

AIG は、現在、シリーズ F 優先株式に関して AIG および米国財務省間で締結された、2009 年 4 月 17 日付けの株式売買契約（「シリーズ F 株式売買契約」）に基づく米国財務省のコミットメント（「米国財務省コミットメント」）の下、約 223 億ドルを引き出す権利を有します。AIG は、後述の、シリーズ G 優先株式に関するコミットメントに基づき、本クロージング以降、一般的な企業活動に利用する目的で、利用可能である米国財務省コミットメントのうち、最大 20 億ドルまでの金額を指定する権利（「シリーズ G 引出権」）を有する予定です。本クロージングに、AIG は、米国財務省コミットメントの総額からシリーズ G 引出権に基づき指定する金額を差し引いた額、または、当該額が、NY 連銀の SPV における優先持分（「SPV 優先持分」）を上回る場合は、両者のうちより低い方の額である NY 連銀の SPV における優先持分の額を引き出します（「シリーズ F クロージング時引出額」）。AIG は、シリーズ F クロージング時引出額を、NY 連銀の SPV 優先持分のすべてまたは一部（シリーズ F クロージング時引出額に対応する金額分。この買戻対象となる金額分の SPV 優先持分を「移管 SPV 優先持分」という。）を買い戻すために利用し、移管 SPV 優先持分をシリーズ F 優先株式に対する対価の一部として、米国財務省に移管させます。

本クロージング時に SPV 優先持分が（かかる持分に関するすべての分配が実行された後、）シリーズ F クロージング時引出額を上回っている場合、本クロ

ージング時に米国財務省に移管されていないすべての SPV 優先持分は引き続き NY 連銀が保有し、これらは米国財務省が保有する移管 SPV 優先持分に優先します。AIG の残りの AIA 普通株式、およびアリコの売却により取得したメットライフ株式の、本クロージング以降の現金化による収入に加え、AIG は、適用される規制および税務上の考慮に従い、AIG が売却目的に保有していると分類されているナン・シャン・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド（「ナン・シャン」）、AIG スター・ライフ・インシュアランス・カンパニー・カンパニー・リミテッド（「AIG スター生命」）および AIG エジソン・ライフ・インシュアランス・カンパニー（「AIG エジソン生命」）ならびに、AIG が売却目的に保有していると分類されていないインターナショナル・リース・ファイナンス・コーポレーション（「ILFC」）におけるエクイティ持分の売却または処分からの収益、ならびに AIG および AIG 子会社のメイデン・レーン II エルエルシーおよびメイデン・レーン III エルエルシーにおける持分からの収益を利用して、SPV 会社間ローン返済を、もって、SPV が本クロージング以降の SPV 優先持分を支払うことを可能とするための資金を提供します。

これらの取引の結果、SPV 優先持分は AIG 貸借対照表上の永久的持分としてみなされなくなり、一部保有されている連結子会社における償還可能で支配権を有しない持分に分類されることとなります。

SPV 優先持分に関する支配権

本基本取引合意書に基づき、本クロージング後においては NY 連銀が SPV 優先持分を保有している限り、また、その後においては米国財務省が SPV 優先持分を保有している限り、NY 連銀および米国財務省（この条件における両者を「支配権保有者」という。）は、既存の契約上の規定に従い、AIG がアリコの売却により取得した AIA の普通株式持分およびメットライフの株式を処分するよう、AIG に要求する権利を有します。また、AIG は、ナン・シャン、AIG スター生命、AIG エジソン生命および ILFC（これらを「指定子会社」という。）に関する特定の重大な取引（新規株式公開、売却、重要な取得または処分ならびに多額の債務の発生などを含む。）を行うに当たり、支配権保有者の了承を得なければなりません。2013 年 5 月 1 日に SPV 優先持分が少しでも残存していれば、支配権保有者は、支配権保有者が定める予定の規定に従い、1 つ以上の指定子会社のすべてまたは一部を強制的に売却させる権利を有します。

SPV 会社間ローンの保証

SPV 会社間ローンは、AIG および特定の子会社の、指定子会社におけるエクイティ持分の質権、ならびに AIA SPV およびアリコ SPV の資産（AIG がアリコの売却により取得した AIA の普通株式持分およびメットライフの株式を含む。）により保証される、担保付制限償還ローンです。SPV 会社間ローンの償還は、原則として、差入れた担保の受戻権の失効のみに制限されていますが、規制または税務の考慮により、担保にできない指定子会社のエクイティ持分の公正市場価格の範囲内では、この限りではありません。

AIG のシリーズ G 優先株式の発行

本基本取引合意書に基づき、AIG および米国財務省は、本クロージング時における、AIG による米国財務省に対するシリーズ G 優先株式 20,000 株の発行につき規定するために、シリーズ F 株式売買契約を、修正・再表示します。AIG が米国財務省から資金の引き出しを行う権利（シリーズ G 引出権は除く。）は終了し、発行済みのシリーズ F 優先株式の持分は、後述「AIG のシリーズ C、E、および F 優先株式の AIG 普通株式への転換」の項において記載のとおり交換されます。

シリーズ G 優先株式は、発行当初は、2010 年 9 月 30 日より後から、本クロージングまでの間に、米国財務省コミットメントから引き出された資金（もしあれば）の金額（かかる額は 20 億ドルを超えてはならない。かかる引出額に、年利 5 パーセントの発生済み配当額を反映した金額を加えた額）と同額の優先的分配権を持ちます。本クロージングから 2012 年 3 月 31 日までの間、AIG は、一般的な企業活動に利用するために、シリーズ G 引出権に基づいて、資金の引き出しを行うことができます。当該引出しにより、シリーズ G 優先株式の優先的分配権の総額は、その引出額分、増加します。AIG は、原則として、シリーズ G 優先株式に対する優先的分配権が、AIG が本クロージング前に指定できる最大 20 億ドルまで、引き出すことができます。シリーズ G 引出権は、現行のシリーズ F 株式売買契約の条件と実質上同様の条件に従います。

シリーズ G 優先株式の配当は、シリーズ G 優先株式の優先的分配権の総額に、年利 5 パーセントで四半期ごとに複利の利子が付く形で、AIG の判断で、現金または優先的分配権の増額という形で、支払われます。

一般的な企業活動のために利用される、シリーズ G 引出権に基づいて利用可能である資金の額は、AIG の将来のエクイティの売出しから得られる純収入の額によって減額されることとなっています。このような純収入が実現した時に、NY 連銀が SPV 優先持分を保有し続けていた場合、(i) シリーズ G 引出権に基づき、最大 20 億ドル（当該金額は上記の現金純収入と同額）の額（または、シリーズ G 引出権に基づいて利用可能な資金の額、もしくは、NY 連銀がその時に保有している SPV 優先持分の額のいずれかより低い額。）が引き出され、(ii) 当該引出額は、NY 連銀から、相当額分の SPV 優先持分を買い戻すために利用され、(iii) 当該 SPV 優先持分は、本クロージングにおいて行われた方法と同様の方法で、引き出し分を返済するために、米国財務省に移管され、(iv) ((i) の条件による引出しにより増加した) シリーズ G 優先株式の優先的分配権は、かかる移管された SPV 優先持分と同額分、減額されます。AIG は、エクイティの売出しからの収入のうち、AIG のシリーズ G 引出権に基づいて利用可能な資金を超過した分を、シリーズ G 優先株式の優先的分配権の償還に使用しなければなりません。

NY 連銀が SPV 優先持分を保有し続けている間は、AIG は、シリーズ G 優先株

式を直接償還することはできません。ただし、AIG は、NY 連銀から、使用した金額に相当する SPV 優先持分（買戻し時に米国財務省に移管され、シリーズ G 優先株式の優先的分配権の総額はその分だけ減少する。）を買い戻すために、現金を利用する権利を有します。NY 連銀がその時点で SPV 優先持分を保有していない場合、シリーズ G 優先株式を、AIG のオプションにより、優先的分配権に加え発生済み未払い配当相当額の現金で、いつでも償還することができます。

NY 連銀が 2012 年 3 月 31 日の時点で SPV 優先持分を保有し続けた場合、AIG は、残存する、当該 SPV 優先持分の額の範囲内で、シリーズ G 引出権に基づいて、利用可能な資金の残存額を全額（残存している引出可能額が、当該 SPV 優先持分の優先的分配権の総額よりも低い場合には、その満額）引き出します。当該資金は、上記に説明されたとおり、引き出された資金を返済するために、米国財務省に移管させる SPV 優先持分を買い戻すためにも利用されます。これらの効力が発生した後も、2012 年 3 月 31 日の時点でシリーズ G 優先株式の未払い優先的分配権総額の残高がある場合、これらは、AIG 普通株式に転換されます。その個数は、優先的分配権および発生済み未払い配当額を、①29.29 ドルと、②本資本再編に関連し、AIG 普通株式が売買される直後に開始される 30 取引日の AIG の普通株式の出来高加重平均価格（AIG 普通株式の保有者に発行されるワラントの権利分の価値を除く。）の 80 パーセント相当額（後述）のうち、いずれか低い方の額で除した数に等しくなります。

AIG のシリーズ C、E、および F 優先株式の AIG 普通株式への転換

本クロージング時に、(i) 本トラストが保有する、シリーズ C 優先株式は、AIG 普通株式約 562,868,096 株と交換され、米国財務省に交付され、最終的に米国財務省が保有し、(ii) 米国財務省が保有するシリーズ E 優先株式は AIG 普通株式 924,546,133 株と交換され、(iii) 米国財務省が保有するシリーズ F 優先株式の持分は、(a) 移管 SPV 優先持分（上記の説明のとおり。）、(b) 新しく発行されたシリーズ G 優先株式、および (c) AIG 普通株式約 167,623,733 株と交換されます。本資本再構成がクロージングした後、米国財務省は、新規発行された AIG 普通株式の 1,655,037,962 株、すなわち、本クロージング時に発行済みとなる AIG 普通株式の約 92.1 パーセントを保有することとなります。この株式同士の交換および交付が完了した後、本トラストは終了します。AIG は、本クロージング以降、本トラストのトラスティーを免責および補償し、以前に本トラストに貸し付けた金額に対する権利を放棄し、2.50 億ドル以上の保険カバレッジをトラスティーに提供するための保険を確保し、コストおよび費用が AIG によって適時に補償されない限りにおいてトラスティーに当該コストおよび費用を補償し支払うことを目的に、52 億ドルの取消不能のスタンバイ信用状（トラスティーが合理的に納得するもの）を取得する、という各項目に合意します。

本クロージング時に発行される AIG 普通株式につき、AIG は、米国財務省に対し、届出を行う権利を付与する証券届出権利契約を締結します。かかる合意

には、下記の権利が含まれます。

- ・本クロージング後の AIG 普通株式の届出済証券の売出しに参加する権利
- ・2011 年 8 月 15 日または AIG の株式新規発行が完了した日の、いずれか早いうちの日以降の 12 ヶ月の間、2 回まで、AIG が届出済証券の売出しを実行することを要求する権利
- ・時価での売出しに参加する権利
- ・AIG の議決権付株式の保有率が 33 パーセントを下回るまで、AIG が参加している届出済証券の売出しの条件を承認する権利

AIG の権利は下記のとおりの内容となる予定です。

- ・2011 年 8 月 15 日までに、届出済証券の新規発行において、最大 30 億ドル拠出する権利（米国財務省の承認が得られれば、さらに最大 40 億ドルを追加できる。）
- ・AIG の保険子会社で起きた事象により AIG 親会社の流動性総額（現金、現金に相当するもの、およびクレジットのコミットメントのことであり、米国財務省コミットメントを除く。）が、当該事象が起きたと判断された日から 12 ヶ月の間に 80 億ドルを下回ると予想された場合に、20 億ドルまたは負債額のいずれか多いほうの額を拠出する権利

米国財務省の、AIG の議決権付証券の保有率が 33 パーセントを下回るまで、米国財務省は、AIG が参加するすべての売出しの条件およびプライシングにつき、一切の支配権を有します（AIG の新規発行を含みます。）。その結果、AIG は、毎年 2 回の新規発行を行う権利を有しますが、米国財務省はかかる新規発行に参加することや、AIG のエクイティ証券の売却を阻止することができる。AIG は、米国財務省による株式の届出に関する一切の費用ならびに米国財務省が負担する引受についての割引額および手数料額の、最大 1 パーセントを支払わなければなりません。

シリーズ C 優先株式、シリーズ E 優先株式およびシリーズ F 優先株式との交換と関連する、AIG 普通株式の発行は、一株当たり利益を算出するにあたり利用される、AIG 普通株式の株主に帰属する純利益および加重平均発行済株式に大きな影響を及ぼします。

AIG 普通株式を購入するための、AIG 株主に対する本ワラントの発行

本クロージングの直後に、本クロージング直前の AIG 普通株式登録株主に対し、配当の形式で、最大で合計 7,500 万株の AIG 普通株式を購入するための 10 年本ワラントを、一株当たり行使価格 45.00 ドルで、発行します。本トラ

スト、米国財務省またはNY 連銀は本ワラントを受け取りません。

米国財務省の発行済ワラント

米国財務省が現在保有する発行済みワラントは、本資本再構成後も発行済みであり続けるが、本資本再構成により、ワラントの規定が変更されることはない。

本資本再構成のクロージングの条件

その他の本クロージングのための条件の中でも、とりわけ、NY 連銀が、本クロージングの直後、優先的分配権の総額が 20 億ドルを超過する SPV 優先持分を保有しないことが本クロージングのための条件となります。さらに、AIG および AIG の特定の主要子会社の財務状況は、本資本再構成およびかかる会社の信用格付プロフィールを勘案し、証券届出権利契約の当事者にとって、合理的に容認できるものでなくてはなりません。また、AIG は、本クロージング時に、AIG、米国財務省および NY 連銀にとって合理的に容認できる第三者の資金提供コミットメントを有するものとします。さらに、AIG は、AIG フィナンシャル・プロダクツ・コープにおけるリスク削減という 2010 年度末ターゲットを達成させたものとし、本トラストのトラスティーは、本資本再構成に関連し、トラスティーに提供される保険および補償に関する取り決めにつき、合理的な場合には容認しなければならないものとします。また、本クロージングは、特定の管轄地における、規制当局による認可に規制されることもあります。2011 年 3 月 15 日までに本資本再構成がクロージングしていない場合、いずれの当事者も本基本合意書を終了させることができます。

本資本再構成のクロージングは、様々なリスクおよび不確実性の影響を受けます。本基本合意書が締結されたにもかかわらず、多くの要因（その多くは AIG のコントロールが及ばない要因である。）により、本資本再構成を実施またはクロージングすることが困難になる可能性があります。特に、本資本再構成を実行する AIG の能力は、規制上の承認、第三者の承認および格付け機関による条件を充足する格付けプロフィールを含む多くの状況に左右されます。本資本再構成は、特に、以下の事項による悪影響を受ける可能性があります。

- ・ 第三者の資金提供コミットメントの保証が不可能であること。
- ・ AIG の資産価値の下落またはその事業の悪化。
- ・ 提案された取引に必要な規制当局の承認および第三者の同意が得られないこと。

AIG が本資本再構成をクロージングする条件を充足することができること、またはその他の方法で本資本再構成の実施を成功することができることについての保証はありません。

本資本再構成の実行の複雑性は、現在の環境においてその事業を運営することが困難であることと相まって、AIG の内部統制をさらに圧迫し、コストを増加させ、かつ経営陣および従業員の意識を日常の職務からそらす可能性があり、そのすべてが、事業および顧客を重視および維持する能力の両方に関して、AIG の事業に悪影響を及ぼす可能性があります。

AIG が本資本再構成をクロージングできない場合、AIG の事業、経営および流動性にどのような影響が及ぶかは不透明です。本資本再構成をクロージングできないことにより、特に、米国政府からの支援の水準の低下、格付けの低下、キャピタル・マーケットへの使用の制限、および顧客の AIG に対する信用の喪失を招く可能性がある。その結果、資本再構成をクロージングできないことにより、AIG の事業、経営および流動性に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

米国財務省に対する AIG の普通株式の発行は、規制当局および契約の相手方当事者とともに、AIG および AIG の子会社に対しても不利な影響を与える可能性があります。米国財務省に対する AIG の普通株式の発行の結果、AIG における支配権が変更される可能性があります。AIG における支配権が変更された場合、AIG および AIG の子会社が事業を行っている、130 以上の国および管轄地の多くにおいて、通知、承認および／または規制上の要件遵守が必要となります。AIG およびその子会社が事業を行っている管轄地の数の多さ、およびかかる管轄地における規制当局の要求に対する査定および対処事項の複雑性を勘案すると、AIG は、本資本再構成に関連する全ての規制当局の合意または承認を得ることが出来ない可能性があります。

また、AIG およびその子会社は、AIG の支配権の変更の影響を受ける可能性のある、様々な契約およびその他の取引の当事者でもあります。

米国財務省に対する AIG 普通株式の発行の結果、米国財務省は、AIG の支配株主となります。本資本再構成のクロージングに伴い、米国財務省は、法が許す範囲内で、以下を含む、すべての事項につき、AIG の株主の議決権を支配することができます。

- ・ 合併またはその他のビジネス統合の承認
- ・ すべて、またはほぼすべての AIG の資産の売却
- ・ AIG 普通株式またはその他のエクイティ証券の追加的な発行
- ・ AIG のその他の株主にとっては有利ではなく、米国財務省にとっては有利となるその他の事項

さらに、米国財務省の、AIG における支配権の変更を実施または阻止する能

力は、AIG 普通株式の市場価格に悪影響を及ぼす可能性があります。

また、米国財務省は、証券に関する適用ある法律に従い、AIG 普通株式の全てまたは一部を、その他の個人または会社に移管することができ、かかる移管に伴い、その個人または会社が AIG の支配的株主となる可能性があります。上記の証券届出権利合意に基づく米国財務省の権利は、5 億ドル分以上の AIG 普通株式を買い取る者に対して、譲渡することができます。

米国財務省が将来 AIG の普通株式を売却した場合、AIG 普通株式の市場は悪影響を受ける可能性があります。AIG は、米国財務省に対し、上記の証券届出権利を付与しました。AIG は、米国財務省の売却による、AIG 普通株式の市場価格に対する影響（もしあれば）について予測はできませんが、AIG 普通株式の大量の売却、またはかかる売却が実行される可能性があることが判明することは、AIG 普通株式の市場価格に悪影響を及ぼす可能性があります。

発行の有効日

証券取引法に基づき交付された規則 14c-2 に従い、本件発行は、2010 年 12 月 30 日、すなわち本通知および本ステートメントが最初に株主に郵便または送信されてから暦日 20 日後まで効力が生じません。本件発行は、本クロージングと同時に発生します。AIG は現在、本クロージングが 2010 年 12 月 31 日もしくはその付近または本クロージングのすべての条件が充足または放棄された日以降の日付に発生すると予想しています。

議決権付株式およびその主な保有者

AIG 普通株式

下記の表は、AIG の知るところにより、2010 年 12 月 7 日現在、AIG の発行済普通株式を 5 %以上実質的に保有している者に関する情報です。

氏名および住所	実質的に保有している普通株式	
	株数	保有割合
フェアホルム・キャピタル・マネジメント・エルエルシー；フェアホルム・ファンド・インク；ブルース・R・バーコウィッツ（「フェアホルム」と総称） (1) 4400 ビスケーン大通り、9 階 フロリダ州、マイアミ 33137	39,990,099	28.558% (2)
C.V. スター・アンド・カンパニー・インク、エドワード・E・マッシュューズ、モーリス・R・グリーンバーク、スター・インターナショナル・カンパニー・インク、ユニバーサル・ファウンデーション・インク（「スター・グループ」と総称）(3) 399 パーク・アベニュー、17 階 ニューヨーク州、ニューヨーク 10022 (4)	14,111,480	10.077%

(1) フェアホルムの各メンバーにより提出された 2010 年 11 月 18 日付けの 13D 報告書（「フェアホルム 13D 報告書」）に基づき、フェアホルムのメンバーは、その金銭的持分を除く、フェアホルム 13D 報告書において報告される AIG 普通株式の実質的な保有を明確に放棄します。フェアホルム 13D 報告書のアイテム 5 には、フェアホルムの各メンバーが有する議決権および投資権限について記載されています。フェアホルムに関するすべての情報は、フェアホルム 13D 報告書に記載のある情報のみに基づき提示されるものです。この情報は、証券取引法の第 16 章に基づきフェアホルムのメンバーが開示した、フェアホルムのメンバーの保有の変更を反映する更新を行っていません。いずれの場合においても、かかる情報は正確または完全なものでない可能性があり、AIG はこの点について一切の責任を負わず、本通知および本ステートメント中の日付およびその後の日付においても、情報の正確性または完全性について一切の保証を表明しません。

(2) 2010 年 12 月 7 日現在の AIG の発行済普通株式に基づくと、これらの所有持分は、フェアホルム・キャピタル・マネジメント・エルエルシーおよびブルース・バーコウィッツ氏については AIG 普通株式の約 28.558 パーセント、フェアホルム・ファンド・インクについては AIG 普通株式の 25.773 パーセントを示しています。

(3) スター・グループの各メンバーにより提出された 2010 年 3 月 17 日付けの 13D 報告書（「スター・グループ 13D 報告書」）に基づき、スター・グループのメンバーはグループの存在を認めませんでした。モーリス・R・アンド・コリー・P・グリーンバーク・ファミリー・ファウンデーション・インク、モーリス・R・アンド・コリー・P・グリーンバーク・ジョイント・テナンシー・カンパニー LLC および C.V. スター・アンド・カンパニー・インク・トラストの各グループはもはや AIG の普通株式の処分を指示又は投票する権限はありません。2009 年 6 月 5 日付でスター・グループの各メンバーにより提出された、スター・グループ 13D 報告書のアイテム 5 には、スター・グループの各メンバーが有する議決権および投資権限の他、スター・グループの各メンバーが有する、60 日以内に AIG 普通株式を取得する

権利について記載されています。スター・グループに関するすべての情報は、スター・グループ 13D 報告書に記載のある情報のみに基づき提示されるものです。この情報は、証券取引法の第 16 章に基づきスター・グループのメンバーが開示した、スター・グループのメンバーの保有の変更を反映する更新を行っていません。いずれの場合においても、かかる情報は正確または完全なものでない可能性があり、AIG はこの点について一切の責任を負わず、本通知および本ステートメント中の日付およびその後の日付においても、情報の正確性または完全性について一切の保証を表明しません。

- (4) 本住所はスター・グループのすべての個人および事業体の所属する主たる営業所の所在地です。ただし、スター・インターナショナル・カンパニー・インク（主たる営業所：101 パーレルストラッセ、CH6300 ザック、スイス）およびユニバーサル・ファウンデーション（主たる営業所：マーキュリー・ハウス、101 フロント・ストリート、ハミルトン HM 12、パミューダ諸島）については例外とします。

AIG のシリーズ C 優先株式

本トラストの受託者である、ケビン・F・バーナード氏（ニューヨーク州 10022 ニューヨーク、パークアベニュー399、アーノルド・アンド・ポーター・エルエルピー）は、AIG の発行済みのシリーズ C 優先株式 100,000 株をすべて保有しています。

決定される事項における特定の者の持分

AIG は米国財務省の唯一の受益者として設立された本トラストにより支配されます。本トラストおよび米国財務省の持分は、AIG のその他の株主の持分とは異なる可能性があります。かかる所有の結果、本トラストは、2009 年 1 月 16 日付の AIG クレジット・ファシリティ・トラスト契約（その後の変更を含み、「トラスト契約」）およびシリーズ C 優先株式の条件に従い、AIG の取締役（シリーズ E 優先株式およびシリーズ F 優先株式により選任される取締役を除く。）を選任することができます。また法律の許容する範囲内において、以下を含む実質的にすべての事項に係る議決権を統制することができます。

- ・ 合併またはその他事業結合
- ・ すべてのまたは実質的にすべての AIG の資産の売却
- ・ AIG 普通株式またはその他のエクイティ証券の更なる発行
- ・ 米国財務省に有益な決議事項

本件発行は、本取締役会により承認されています。AIG の取締役および役員は、シリーズ C 優先株式、シリーズ E 優先株式またはシリーズ F 優先株式を保有しておらず、また、シリーズ G 優先株式を保有しません。AIG の取締役および役員の中には、AIG 普通株式を保有する者もいます。そのため、AIG 普通株式を保有する各取締役および役員は、本資本再構成に基づく本ワラントを受領する権限を有することとなります。

住所を共有する株主への文書の送付

(抄訳者注：冒頭に記載したように、本段落の記載は主に米国内株主の皆様への送付を想定した記載であり、日本における株主の皆様に対しては個別・直接に送付がなされませんので、本稿の記載は日本の株主の皆様には直接には関係がありません。)

一つの住所を共有している特定の株主については、AIG がかかる住所を届け出ている当該株主から別途指示を受けない限り、本ステートメントは、各コピー1部のみ当該共有住所宛に送付されます。この方法は、印刷および郵便コストの削減を目的としており、「ハウスホールディング」として呼ばれています。ただし、当該住所に通して保有している株主が、本ステートメントのもう一部のコピーの送付を希望する場合は、10038 ニューヨーク州ニューヨーク市メイデン・レーン 180、AIG IR 担当ディレクター宛 (AIG Director of Investor Relations, 180 Maiden Lane, New York, New York, 10038) または電話 212-770-6293 にご連絡いただければ、AIG はかかる要請を受け次第、株主個人の方にかかる書類をお送りします。

また株主は、AIG IR 担当ディレクター宛に、別途の株主資料および年次報告書を将来的に受領したい旨要請することもできます。現在 AIG のプロキシ・ステートメントの複数の部数受領されている株主の方は、AIG IR 担当ディレクターにご連絡いただければ、ハウスホールディング式への変更も要請することができます。」

[Table of Contents](#)**American International Group, Inc.**

180 Maiden Lane
New York, New York 10038

INFORMATION STATEMENT

**NO VOTE OR OTHER ACTION OF AIG'S SHAREHOLDERS IS REQUIRED IN
CONNECTION WITH THIS INFORMATION STATEMENT.**

**WE ARE NOT ASKING YOU FOR A PROXY AND YOU ARE REQUESTED
NOT TO SEND US A PROXY.**

ABOUT THIS INFORMATION STATEMENT**General**

This Information Statement is being furnished by American International Group, Inc. ("AIG") to inform the shareholders of record as of the close of business on December 7, 2010 (the "Record Date") that on the Record Date, the Board of Directors of AIG (the "Board") approved, and the AIG Credit Facility Trust, a trust established for the sole benefit of the United States Treasury (the "Trust"), as holder of a majority of the voting power of AIG's shareholders as of the Record Date, approved by written consent (the "Written Consent"), the following corporate actions (collectively, the "Issuance"), subject to the Closing (as defined below):

- The issuance of shares of AIG's common stock, par value \$2.50 per share ("AIG Common Stock"), as follows:
 - (i) 562,868,096 shares of AIG Common Stock to the Trust in exchange for all the outstanding shares of AIG's Series C Perpetual, Convertible, Participating Preferred Stock, par value \$5.00 per share (the "Series C Preferred Stock"),
 - (ii) 924,546,133 shares of AIG Common Stock to the United States Department of the Treasury (the "Treasury Department") in exchange for all the outstanding shares of AIG's Series E Fixed Rate Non-Cumulative Perpetual Preferred Stock, par value \$5.00 per share (the "Series E Preferred Stock"), and
 - (iii) 167,623,733 shares of AIG Common Stock to the Treasury Department as partial consideration in exchange for the outstanding shares of AIG's Series F Fixed Rate Non-Cumulative Perpetual Preferred Stock, par value \$5.00 per share (the "Series F Preferred Stock").
- The issuance of 20,000 shares of a new series of AIG's preferred stock designated as "Series G Cumulative Mandatory Convertible Preferred Stock" (the "Series G Preferred Stock") to the Treasury Department as partial consideration in exchange for the outstanding shares of the Series F Preferred Stock.

This Information Statement is being provided pursuant to the requirements under Rule 14c-2 of the Securities Exchange Act of 1934, as amended (the "Exchange Act"), to holders of AIG Common Stock entitled to vote or give an authorization or consent to vote in regard to the matters acted upon by the Written Consent.

A copy of the Written Consent executed by the Trust is attached hereto as Appendix A. The several Appendices and Annexes attached hereto form a part of this Information Statement for all purposes.

This Information Statement is first being mailed or transmitted on or about December 10, 2010 to AIG's shareholders of record as of the Record Date. AIG anticipates that the Issuance and the closing of the Recapitalization (as defined below) (the "Closing") will occur on or about December 31, 2010 or on such date thereafter when all conditions to the Closing have been satisfied or waived.

[Table of Contents](#)**Reason for the Written Consent*****Summary of the Corporate Actions***

On September 30, 2010, AIG entered into an agreement in principle (the “Agreement in Principle”) with the Treasury Department, the Federal Reserve Bank of New York (the “FRBNY”) and the Trust regarding a series of integrated transactions (the “Recapitalization”) to recapitalize AIG, including the repayment of all amounts owed under the Credit Agreement, dated as of September 22, 2008 (as amended, the “Credit Agreement”), with the FRBNY. The Agreement in Principle was superseded by (i) the Master Transaction Agreement, dated as of December 8, 2010 (the “Master Transaction Agreement”), among AIG, ALICO Holdings LLC, AIA Aurora LLC, the FRBNY, the Treasury Department and the Trust, (ii) the Amended and Restated Purchase Agreement, which will be executed and delivered at or prior to the Closing (the “Amended SPA”), among AIG, the Treasury Department and the FRBNY and (iii) the Registration Rights Agreement, which will be executed and delivered at or prior to the Closing (the “Registration Rights Agreement”), between AIG and the Treasury Department (the Master Transaction Agreement, the Amended SPA and the Registration Rights Agreement are referred to herein as the “Definitive Agreements”). The Master Transaction Agreement is attached hereto as Appendix B-1, the Amended SPA, substantially in the form in which it will be executed at or prior to the Closing, is attached hereto as Appendix B-2, and the Registration Rights Agreement, substantially in the form in which it will be executed at or prior to the Closing, is attached hereto as Appendix B-3.

The purposes of the Recapitalization are to facilitate the full repayment to the FRBNY and the Treasury Department of the financial assistance provided to AIG by the FRBNY and the Treasury Department since September 2008 and to promote AIG’s transition from a majority government owned and supported entity to a financially sound and independent entity.

Action by Written Consent

On the Record Date, the Trust, which was established for the sole benefit of the United States Treasury, was the record holder of all 100,000 outstanding shares of the Series C Preferred Stock, which, as of that date, were entitled to approximately 79.75 percent of the voting power of AIG’s shareholders entitled to vote on any particular matter. On the Record Date, the Trust delivered to AIG the executed Written Consent approving the Issuance, subject to the Closing.

Voting and Vote Required

AIG is not seeking a consent, authorization or proxy from you regarding the Issuance. Section 228 of the Delaware General Corporation Law (the “DGCL”) and Section 1.11 of AIG’s by-laws permits shareholder action that may be taken at an annual or special meeting of shareholders to be taken instead by written consent signed by holders of outstanding shares having not less than the number of votes necessary to take such action at a meeting.

Pursuant to Section 312.03 of the New York Stock Exchange Listed Company Manual, approval of the Issuance by the holders of shares of AIG Common Stock and Series C Preferred Stock, as of the Record Date, voting together as a single class, is required prior to the Issuance. As described below, because the Trust, as the sole holder of the Series C Preferred Stock, holds a majority of the voting power of AIG’s shareholders, the Written Consent is sufficient to approve the Issuance and satisfy Section 312.03.

As of the Record Date, there were 140,029,615 shares of AIG Common Stock outstanding and entitled to vote, held by 44,862 shareholders of record, and 100,000 shares of Series C Preferred Stock outstanding and entitled to vote, held by the trustees of the Trust. Each share of AIG Common Stock is entitled to one vote. Each share of the Series C Preferred Stock is entitled to approximately 5,515.1817 votes (551,518,174 in the aggregate). On the Record Date, the Trust, as the sole holder of the Series C Preferred Stock, was entitled to 79.75 percent of the voting power of AIG’s shareholders entitled to vote on any particular matter. **Accordingly, the action by the Written Consent executed by the Trust is sufficient to approve the Issuance, and no further shareholder action is required.**

[Table of Contents](#)**Notice Pursuant to By-laws and the Delaware General Corporation Law**

Pursuant to Section 228(e) of the DGCL and Section 1.11 of its by-laws, AIG is required to provide prompt notice of the taking of a corporate action by written consent to AIG's shareholders who have not consented in writing to such action and who, if the action had been taken at a meeting, would have been entitled to notice of the meeting. This Notice and Information Statement serves as the notice required by Section 228(e) of the DGCL and Section 1.11 of AIG's by-laws.

[Table of Contents](#)**THE RECAPITALIZATION****Summary of Recapitalization Transactions*****Background***

In late 2009, AIG and the Treasury Department began discussions to consider a possible transaction with the Treasury Department, the FRBNY and the Trust to repay amounts owed under the Credit Agreement and to permit the government to exit its ownership relationship with AIG. In April 2010, the Board established a committee composed solely of outside directors, the Government Repayment Committee, to evaluate a possible transaction. The Government Repayment Committee comprised Mr. Douglas Steenland as Chairman, Mr. Henry Miller, Mr. Robert S. “Steve” Miller (until becoming Chairman of the Board, at which time he became an ex officio member) and Mr. Christopher Lynch, with Mr. Morris Offit and the Chairman of the Board as ex officio members.

AIG retained Merrill Lynch, Pierce, Fenner & Smith Incorporated (“BofA Merrill Lynch”) and Citigroup Global Markets Inc. (“Citigroup”) as financial advisers to assist in its analysis, and the Government Repayment Committee retained independent counsel and Rothschild Inc. (“Rothschild”) as its independent financial adviser. Rothschild was retained to assess the work performed by BofA Merrill Lynch and Citigroup and to assist the Committee in its analysis.

AIG then commenced discussions with the Treasury Department, the FRBNY and the trustees of the Trust regarding various proposals. The negotiations were complex and continued throughout the summer. The Government Repayment Committee, in general, met at least weekly, and held additional meetings as necessary to stay abreast of the negotiations.

The negotiations resulted in management recommending to the Government Repayment Committee approval of the Agreement in Principle (which was superseded by the Definitive Agreements), which has the following elements (described in more detail below):

- Repayment and termination of the FRBNY Credit Facility, as defined below.
- Repurchase and exchange of the SPV Preferred Interests, as defined below.
- Issuance of AIG’s Series G Preferred Stock.
- Exchange of AIG’s Series C, E and F Preferred Stock for AIG Common Stock.
- Issuance to holders of AIG Common Stock of Warrants to purchase additional shares of AIG Common Stock.

In considering the recommendation of management, the Government Repayment Committee received from each of Citigroup and BofA Merrill Lynch an opinion to the effect that, as of the date of the opinion, and subject to the assumptions and limitations set forth therein, the consideration to be paid by AIG in connection with the exchange of the Series E Preferred Stock and Series F Preferred Stock for AIG Common Stock and the issuance to holders of AIG Common Stock of Warrants to purchase additional shares of AIG Common Stock, taken as a whole, was fair to the holders of AIG Common Stock (other than the Treasury Department, with respect to which no opinion was requested or expressed) from a financial point of view. The fairness opinions rendered by Citigroup and BofA Merrill Lynch do not opine as to the fairness of the exchange of the Series C Preferred Stock for shares of AIG Common Stock. The Government Repayment Committee did not deem it necessary to receive a fairness opinion regarding this exchange because the number of shares of AIG Common Stock received by the Trust for the Series C Preferred Stock was derived from a previously agreed formula (i.e., the number was determined based upon the number of shares of AIG Common Stock the Trust would otherwise have been entitled to if the Series C Preferred Stock had been converted in accordance with its terms). Each of Citigroup and BofA Merrill Lynch has consented to the inclusion of its opinion as an appendix to this Notice and Information Statement, and copies of such opinions are attached hereto as [Appendices C-1](#) and [C-2](#). Further, the Government Repayment Committee received from its independent adviser, Rothschild, a letter indicating that, subject to the assumptions made and the other

[Table of Contents](#)

qualifications and limitations described therein, the opinions rendered by Citigroup and BofA Merrill Lynch were reasonable from a financial perspective. Rothschild has consented to the inclusion of its letter as an appendix to this Notice and Information Statement, and a copy of Rothschild's letter is attached hereto as [Appendix D](#). The opinions of the financial advisors and the letter of Rothschild were provided for the information and assistance of the Board and the Government Repayment Committee, respectively, in connection with their consideration of the Recapitalization, and were limited to the matters set forth therein. Such opinions and the letter of Rothschild were one factor taken into account by the Government Repayment Committee and the Board in making their determinations to recommend and approve the Recapitalization. Such opinions and the letter of Rothschild do not constitute a recommendation to the Board or any shareholder of AIG with respect to the Recapitalization or any other matter and do not recommend specific terms of the Recapitalization. In addition, the Government Repayment Committee considered advice from Citigroup and BofA Merrill Lynch regarding the capital markets transactions contemplated by the Agreement in Principle. After considering management's recommendation, such opinions, advice and other factors, the Government Repayment Committee unanimously recommended approval of the Agreement in Principle to the Board. The Board, after considering the same information as provided to the Government Repayment Committee and taking into account the recommendation of the Government Repayment Committee, unanimously approved the Agreement in Principle, which was entered into on September 30, 2010. The Agreement in Principle was superseded by the Definitive Agreements.

Recapitalization Transactions

The Recapitalization transactions, all of which are to occur substantially simultaneously at the Closing, are to be as follows.

Repayment and Termination of the FRBNY Credit Facility

At the Closing, AIG will repay to the FRBNY in cash all amounts owing under the Credit Agreement (the "FRBNY Credit Facility"), between AIG and the FRBNY, and the FRBNY Credit Facility will be terminated. As of September 30, 2010, the total repayment amount under the FRBNY Credit Facility was approximately \$20 billion. The funds for repayment are to come from the net cash proceeds from the sale in the initial public offering of 67 percent of AIA Group Limited ("AIA") ordinary shares and the sale of American Life Insurance Company ("ALICO"), which closed on October 29, 2010 and November 1, 2010, respectively. The net cash proceeds from the initial public offering of AIA and the sale of ALICO totaled approximately \$27 billion, a portion of which will be loaned to AIG (for repayment of the FRBNY Credit Facility), in the form of secured limited recourse loans, from the special purpose vehicles that hold the proceeds of the sales of AIA and ALICO (the "SPVs," and such loans, the "SPV Intercompany Loans"). The remaining net cash proceeds of approximately \$7 billion will be distributed by the SPVs to the FRBNY, in accordance with the terms of the SPVs' limited liability company agreements.

At the time of repayment and termination of the FRBNY Credit Facility, any remaining unamortized prepaid commitment fee asset, which approximated \$4.7 billion at September 30, 2010, will be written off by AIG through a net charge to earnings.

Repurchase and Exchange of the SPV Preferred Interests

AIG currently has the right to draw down up to approximately \$22.3 billion under the Treasury Department's commitment pursuant to the Securities Purchase Agreement, dated as of April 17, 2009 (such commitment, the "Treasury Department Commitment" and such agreement, the "Series F SPA"), between AIG and the Treasury Department relating to the Series F Preferred Stock. AIG will have the right to designate up to \$2 billion of the Treasury Department Commitment to be available after the Closing for general corporate purposes under a commitment relating to the Series G Preferred Stock described below (the "Series G Drawdown Right"). At the Closing, AIG will draw down the full amount of the Treasury Department Commitment less any amounts designated by AIG for the Series G Drawdown Right or, if the amount to be so drawn would be in excess of the FRBNY's preferred interests in the SPVs (the "SPV Preferred Interests"), AIG will draw down such lesser amount (the amount so drawn is called the "Series F Closing Drawdown

[Table of Contents](#)

Amount”). AIG will use the Series F Closing Drawdown Amount to repurchase all or a portion of the FRBNY’s SPV Preferred Interests corresponding to the Series F Closing Drawdown Amount (the interests so purchased, the “Transferred SPV Preferred Interests”) and transfer the Transferred SPV Preferred Interests to the Treasury Department as part of the consideration for the Series F Preferred Stock.

If at the Closing the amount of the SPV Preferred Interests is greater than the Series F Closing Drawdown Amount (after giving effect to any distribution in respect of such interests), then any SPV Preferred Interests not transferred to the Treasury Department at the Closing will continue to be held by the FRBNY and will be senior to the Transferred SPV Preferred Interests held by the Treasury Department. In addition to the proceeds from the monetization, after the Closing, of AIG’s remaining ordinary shares of AIA and the MetLife, Inc. securities received from the sale of ALICO, AIG will, subject to applicable regulatory and tax considerations, use the proceeds from any sales or dispositions of its equity interests in Nan Shan Life Insurance Company, Ltd. (“Nan Shan”), AIG Star Life Insurance Co. Ltd. (“AIG Star”) and AIG Edison Life Insurance Company (“AIG Edison”), all of which are classified as held for sale by AIG, and in International Lease Finance Corporation (“ILFC”), which is not classified as held for sale by AIG, and AIG’s and its subsidiaries’ interests in Maiden Lane II LLC and Maiden Lane III LLC to repay the SPV Intercompany Loans and thereby provide funds with which the SPVs may pay down the SPV Preferred Interests after the Closing.

As a result of these transactions, the SPV Preferred Interests will no longer be considered permanent equity on AIG’s balance sheet, and will be classified as redeemable noncontrolling interests in partially owned consolidated subsidiaries.

Control Rights Related to the SPV Preferred Interests

Under the Master Transaction Agreement, after the Closing, the FRBNY, so long as it holds SPV Preferred Interests, and thereafter the Treasury Department so long as it holds SPV Preferred Interests (the “Rights Holder”) will have the right, subject to existing contractual restrictions, to require AIG to dispose of its ordinary shares of AIA and the MetLife, Inc. securities AIG received from the sale of ALICO. The consent of the Rights Holder will also be required for AIG to take specified significant actions with respect to Nan Shan, AIG Star, AIG Edison and ILFC (the “Designated Entities”), including initial public offerings, sales, significant acquisitions or dispositions and incurrence of significant levels of indebtedness. If any SPV Preferred Interests are outstanding at May 1, 2013, the Rights Holder will have the right to compel the sale of all or a portion of one or more of the Designated Entities on terms that it will determine.

Guarantee of SPV Intercompany Loans

The SPV Intercompany Loans will be limited recourse loans that will be secured by AIG’s and certain subsidiaries’ pledge of their equity interests in the Designated Entities as well as the assets of the AIA SPV and the ALICO SPV, including AIG’s ordinary shares of AIA and the MetLife, Inc. securities AIG received from the sale of ALICO. The recourse on the SPV Intercompany Loans is generally limited to foreclosing on the pledged collateral, except to the extent of the fair market value of equity interests of the Designated Entities that are not able to be pledged because of regulatory or tax considerations.

Issuance of AIG’s Series G Preferred Stock

Pursuant to the Master Transaction Agreement, AIG and the Treasury Department will amend and restate the Series F SPA to provide for the issuance of 20,000 shares of Series G Preferred Stock by AIG to the Treasury Department at the Closing. The right of AIG to draw on the Treasury Department Commitment (other than the Series G Closing Drawdown Right) will be terminated, and the outstanding shares of Series F Preferred Stock will be exchanged as described under “— Exchange of AIG’s Series C, E and F Preferred Stock for AIG Common Stock” below.

The Series G Preferred Stock will initially have an aggregate liquidation preference equal to the amount of funds, if any, drawn down by AIG (such amount not to exceed \$2 billion) on the Treasury Department Commitment after September 30, 2010 but before the Closing (plus an amount to reflect a dividend accrual on such drawdown amount at a rate of 5 percent per annum). From the Closing until March 31, 2012, AIG may draw funds under the Series G Drawdown Right to be used for general corporate purposes, which will increase

[Table of Contents](#)

the aggregate liquidation preference of the Series G Preferred Stock by the amount of such drawdown. AIG generally may draw down funds until the aggregate liquidation preference of the Series G Preferred Stock is an amount up to the \$2 billion that may be designated by AIG prior to the Closing. The Series G Drawdown Right will be subject to terms and conditions substantially similar to those in the Series F SPA.

Dividends on the Series G Preferred Stock will be payable on a cumulative basis at a rate per annum of 5 percent, compounded quarterly, of the aggregate liquidation preference of the Series G Preferred Stock and may be paid, at AIG's option, in cash or in increases in the liquidation preference.

The available funding under the Series G Drawdown Right that may be used for general corporate purposes will be reduced by the amount of net proceeds of future AIG equity offerings. If the FRBNY continues to hold any SPV Preferred Interests when any such net proceeds are realized, then (i) an amount will be drawn down under the Series G Drawdown Right equal to the amount of such net proceeds up to \$2 billion (or the total available amount under the Series G Drawdown Right or the amount of the SPV Preferred Interests then held by the FRBNY, if less), (ii) the amount drawn down will be used to purchase a corresponding amount of SPV Preferred Interests from the FRBNY, (iii) such SPV Preferred Interests will then be transferred to the Treasury Department to repay the drawdown in the same manner as at the Closing and (iv) the liquidation preference of the Series G Preferred Stock (as increased by the amount drawn down under clause (i)) will be reduced by an amount equal to such transferred SPV Preferred Interests. Proceeds from an equity offered in excess of the available funding under the Series G Drawdown Right are required to be used to pay down the liquidation preference of the Series G Preferred Stock.

AIG may not directly redeem the Series G Preferred Stock while the FRBNY continues to hold any SPV Preferred Interests, but AIG will have the right to use cash to repurchase a corresponding amount of SPV Preferred Interests from the FRBNY, which will then be transferred to the Treasury Department and will accordingly reduce the aggregate liquidation preference of the Series G Preferred Stock. If the FRBNY no longer holds SPV Preferred Interests, the Series G Preferred Stock will be redeemable at any time in cash at AIG's option, at a redemption price equal to the liquidation preference plus accrued and unpaid dividends.

If the FRBNY continues to hold any SPV Preferred Interests on March 31, 2012, AIG will draw down all remaining available funds under the Series G Drawdown Right to the extent of the remaining aggregate amount of those SPV Preferred Interests (or the full remaining available amount, if less). Such funds will also be used to repurchase the SPV Preferred Interests to be transferred to the Treasury Department to repay the draw as described above. If, after giving effect to the foregoing, the Series G Preferred Stock has an outstanding aggregate liquidation preference on March 31, 2012, it will be converted into a number of shares of AIG Common Stock equal to the aggregate liquidation preference plus accrued and unpaid dividends divided by the lesser of \$29.29 and 80 percent of the average volume weighted average price of the AIG Common Stock over the 30 trading days commencing immediately after the date the AIG Common Stock trades without the right to receive the warrants to be issued to holders of AIG Common Stock in connection with the Recapitalization (the "Warrants"), as described below.

Exchange of AIG's Series C, E and F Preferred Stock for AIG Common Stock

At the Closing, (i) the shares of the Series C Preferred Stock held by the Trust will be exchanged for 562,868,096 shares of AIG Common Stock, which will be distributed by the Trust to, and ultimately held by, the Treasury Department; (ii) the shares of the Series E Preferred Stock held by the Treasury Department will be exchanged for 924,546,133 shares of AIG Common Stock; and (iii) the shares of the Series F Preferred Stock held by the Treasury Department will be exchanged for (a) the Transferred SPV Preferred Interests (as described above), (b) newly issued shares of the Series G Preferred Stock and (c) 167,623,733 shares of AIG Common Stock. After completing the Recapitalization, the Treasury Department will hold 1,655,037,962 shares of newly issued AIG Common Stock, representing ownership of approximately 92.1 percent of the AIG Common Stock that will be outstanding as of the Closing. After this share exchange and distribution has been completed, the Trust will terminate. AIG has agreed to exculpate and indemnify the trustees of the Trust post-Closing, to waive the right to amounts previously advanced to the Trust, to procure insurance to provide the trustees not less than \$250 million of insurance coverage and to obtain an irrevocable standby letter of credit,

[Table of Contents](#)

reasonably acceptable to the trustees of the Trust, in the amount of \$5.2 million for the purpose of indemnifying and reimbursing such trustees to the extent such costs and expenses are not covered or timely paid pursuant to AIG's indemnity.

AIG will enter into the Registration Rights Agreement, which grants the Treasury Department registration rights with respect to the shares of AIG Common Stock issued at the Closing, including:

- the right to participate in any registered offering of AIG Common Stock by AIG after the Closing;
- the right to demand no more than twice in any 12-month period that AIG effect a registered marketed offering of its shares after the earlier of August 15, 2011 or the date of AIG's completion of a primary equity offering;
- the right to engage in at-the-market offerings; and
- the right to approve the terms and conditions of any registered offering in which it participates until its ownership falls below 33 percent of AIG's voting securities.

AIG will have the right to

- raise up to \$3 billion (and up to an additional \$4 billion with the consent of the Treasury Department) by August 15, 2011 in a registered primary offering; and
- in the case that events at AIG's insurance subsidiaries are projected to cause the parent company's aggregate liquidity (cash, cash equivalents and commitments of credit, but not the Treasury Commitment) to be projected to fall below \$8 billion within 12 months of the date of determination that such an event at an AIG insurance subsidiary has occurred, raise the greater of \$2 billion and the amount of the deficit.

Until the Treasury Department's ownership of AIG's voting securities falls below 33 percent, the Treasury Department will have complete control over the terms, conditions and pricing of any offering in which it participates, including any primary offering by AIG. As a result, although AIG has the right to conduct two primary offerings per year, the Treasury Department may decide to participate in those offerings, and to prevent AIG from selling any equity securities. AIG is required to pay all expenses of any registration of shares by the Treasury Department and all underwriting discounts and commissions up to one percent incurred by the Treasury Department.

The issuance of AIG Common Stock in connection with the exchange for the Series C Preferred Stock, the Series E Preferred Stock and the Series F Preferred Stock will significantly affect the determination of net income attributable to common shareholders and the weighted average shares outstanding, both of which are used to compute earnings per share.

Issuance to AIG's Common Shareholders of Warrants to Purchase AIG Common Stock

Shortly after the Closing, AIG will issue to the holders of record of AIG Common Stock immediately prior to the Closing, by means of a dividend, 10-year Warrants to purchase up to 75 million shares of AIG Common Stock in the aggregate at an exercise price of \$45.00 per share. None of the Trust, the Treasury Department or the FRBNY will receive Warrants.

The Treasury Department's Outstanding Warrants

The outstanding warrants currently held by the Treasury Department will remain outstanding following the Recapitalization but no adjustment will be made to the terms of the warrants as a result of the Recapitalization.

Conditions to Closing of the Recapitalization

Among other closing conditions, it is a condition to the Closing that the FRBNY will not hold SPV Preferred Interests with an aggregate liquidation preference in excess of \$2 billion immediately after the

[Table of Contents](#)

Closing. Additionally, the financial condition of AIG and certain of its key subsidiaries, taking into account the Recapitalization and the credit rating profiles of such entities, must be reasonably acceptable to the parties to the Master Transaction Agreement and AIG must have in place at the Closing third-party financing commitments that are reasonably acceptable to AIG, the Treasury Department and the FRBNY. Further, AIG must have achieved its year-end 2010 targets for the de-risking of AIG Financial Products Corp., and the trustees of the Trust must be reasonably satisfied with the insurance and indemnification arrangements provided to them in connection with the Recapitalization. The Closing may also be subject to regulatory approvals in certain jurisdictions. Any of the parties may terminate the Master Transaction Agreement if the Recapitalization is not completed by March 15, 2011.

The closing of the Recapitalization is subject to various risks and uncertainties. Even though the Master Transaction Agreement has been executed, numerous factors, many of which are outside of AIG's control, could impair its ability to implement or complete the Recapitalization. In particular, AIG's ability to effect the Recapitalization will be subject to a number of conditions, including regulatory approvals, third-party approvals and satisfactory rating profiles from rating agencies. The Recapitalization could be adversely affected by, among other things:

- an inability to secure third-party financing commitments;
- declines in AIG asset values or deterioration in its businesses; and
- an inability to obtain necessary regulatory approvals or third-party consents for the proposed transactions.

No assurance can be given that AIG will be able to meet the conditions to the completion of the Recapitalization or to otherwise successfully implement the Recapitalization.

The complexity of executing the Recapitalization, combined with the challenges of operating its businesses in the current environment, could place further stress on AIG's internal controls, increase its costs and divert the attention of its management and employees from their normal duties, all of which may adversely affect AIG's business, both in terms of operations and ability to focus on and retain customers.

If AIG is not able to complete the Recapitalization, it is unclear how AIG's businesses, operations and liquidity will be affected. A failure to complete the Recapitalization could result in, among other things, a reduced level of support from the U.S. government, ratings downgrades, inability to access the capital markets and a loss in confidence in AIG by customers. As a result, a failure to complete the Recapitalization could have a material adverse effect on AIG's businesses, operations and liquidity.

The issuance of the shares of AIG Common Stock to the Treasury Department may have adverse consequences for AIG and its subsidiaries with regulators and contract counterparties. The issuance of the shares of AIG Common Stock to the Treasury Department may result in a change of control of AIG. A change of control of AIG triggers notice, approval and/or other regulatory requirements in many of the more than 130 countries and jurisdictions in which AIG and its subsidiaries operate. In light of the large number of jurisdictions in which AIG and its subsidiaries operate and the complexity of assessing and addressing the regulatory requirements in each of the relevant jurisdictions, AIG may be unable to obtain all regulatory consents or approvals that may be required in connection with the Recapitalization.

AIG and its subsidiaries are also parties to various contracts and other agreements that may be affected by a change of control of AIG.

As a result of the issuance of the shares of AIG Common Stock to the Treasury Department, the Treasury Department will become AIG's controlling stockholder. Upon completion of the Recapitalization, the Treasury Department will be able, to the extent permitted by law, to control a vote of AIG shareholders on substantially all matters, including:

- approval of mergers or other business combinations;
- a sale of all or substantially all of AIG's assets;

[Table of Contents](#)

- issuance of any additional AIG Common Stock or other equity securities; and
- other matters that might be favorable to the Treasury Department, but not to AIG's other shareholders.

Moreover, the Treasury Department's ability to cause or prevent a change in control of AIG could also have an adverse effect on the market price of AIG Common Stock.

The Treasury Department may also, subject to applicable securities laws, transfer all, or a portion of, the AIG Common Stock to another person or entity and, in the event of such a transfer, that person or entity could become AIG's controlling shareholder. The Treasury Department's rights under the Registration Rights Agreement described above may be assigned to any person purchasing over \$500 million of AIG Common Stock.

Possible future sales of AIG Common Stock by the Treasury Department could adversely affect the market for AIG Common Stock. AIG has granted the Treasury Department the registration rights described above. Although AIG can make no prediction as to the effect, if any, that sales by the Treasury Department would have on the market price of AIG Common Stock, sales of substantial amounts of AIG Common Stock, or the perception that such sales could occur, could adversely affect the market price of AIG Common Stock.

Effective Date of Issuance

Under Rule 14c-2 promulgated under the Exchange Act, the Issuance may not be effected until at least December 30, 2010, 20 calendar days after the date this Notice and Information Statement was first mailed or transmitted to shareholders. The Issuance will occur simultaneously with the Closing. AIG currently expects the Closing to occur on or about December 31, 2010 or on such date thereafter when all conditions to the Closing have been satisfied or waived.

[Table of Contents](#)

VOTING SECURITIES AND PRINCIPAL HOLDERS THEREOF

AIG Common Stock

The following table contains information regarding the only persons who, to the knowledge of AIG, beneficially own more than five percent of AIG Common Stock outstanding as of December 7, 2010.

Name and Address	Shares of Common Stock Beneficially Owned	
	Number	Percent
Fairholme Capital Management, L.L.C.; Fairholme Funds, Inc.; Bruce R. Berkowitz (collectively, "Fairholme")(1) 4400 Biscayne Boulevard 9th Floor Miami, FL 33137	39,990,099	28.558% (2)
C.V. Starr & Co., Inc.; Edward E. Matthews; Maurice R. Greenberg; Starr International Company, Inc.; Universal Foundation, Inc.; (collectively, the "Starr Group")(3) 399 Park Avenue 17th Floor New York, NY 10022(4)	14,111,480	10.077%

- (1) Based on a Schedule 13D as amended through November 18, 2010 filed by each member of Fairholme (the "Fairholme Schedule 13D"), the members of Fairholme specifically disclaim beneficial ownership in the shares of AIG Common Stock reported in the Fairholme Schedule 13D except to the extent of their pecuniary interest therein. Item 5 to the Fairholme Schedule 13D provides details as to the voting and investment power of each member of Fairholme. All information provided with respect to Fairholme is provided based solely on the information set forth in the Fairholme Schedule 13D. This information has not been updated to reflect changes in the ownership by the members of Fairholme of AIG Common Stock that are disclosed in filings made by one or more members of Fairholme under Section 16 of the Exchange Act. In each case, this information may not be accurate or complete and AIG takes no responsibility therefor and makes no representation as to its accuracy or completeness as of the date hereof or any subsequent date.
- (2) Based on the shares of AIG Common Stock outstanding at December 7, 2010, these ownership interests would represent approximately 28.558 percent of AIG Common Stock for Fairholme Capital Management, L.L.C. and Mr. Berkowitz and 25.773 percent of AIG Common Stock for Fairholme Funds, Inc.
- (3) Based on a Schedule 13D as amended through March 17, 2010 filed by each member of the Starr Group (the "Starr Group Schedule 13D"), the members of the Starr Group do not affirm the existence of a group. Each of the Maurice R. and Corinne P. Greenberg Family Foundation, Inc., the Maurice R. and Corinne P. Greenberg Joint Tenancy Company, LLC and C.V. Starr & Co. Inc. Trust no longer has the power to vote or direct the disposition of any shares of AIG Common Stock. Item 5 to the Schedule 13D dated June 5, 2009 filed by each member of the Starr Group provides details as to the voting and investment power of each member of the Starr Group, as well as the right of each other member of the Starr Group to acquire AIG Common Stock within 60 days. All information provided with respect to the Starr Group is provided based solely on the information set forth in the Starr Group Schedule 13D. This information has not been updated to reflect changes in the ownership by the members of the Starr Group of AIG Common Stock that are disclosed in filings made by one or more members of the Starr Group under Section 16 of the Exchange Act. In each case, this information may not be accurate or complete and AIG takes no responsibility therefor and makes no representation as to its accuracy or completeness as of the date hereof or any subsequent date.
- (4) This is the principal office for all individuals and entities in the Starr Group, other than Starr International Company, Inc., which has a principal office at Baarerstrasse 101, CH-6300 Zug, Switzerland; and the Universal Foundation, which has a principal office at Mercury House, 101 Front Street, Hamilton HM 12, Bermuda.

[Table of Contents](#)**AIG's Series C Preferred Stock**

The trustees of the Trust, c/o Kevin F. Barnard, Arnold & Porter LLP, 399 Park Avenue, New York, New York 10022, hold all of the 100,000 shares outstanding of AIG's Series C Preferred Stock.

INTEREST OF CERTAIN PERSONS IN MATTER TO BE ACTED UPON

AIG is controlled by the Trust, which was established for the sole benefit of the United States Treasury. The interests of the Trust and the United States Treasury may not be the same as the interests of AIG's other shareholders. As a result of its ownership, the Trust is able, subject to the terms of the AIG Credit Facility Trust Agreement, dated as of January 16, 2009 (as it may be amended from time to time, the "Trust Agreement"), and the Series C Preferred Stock, to elect all of AIG's directors (other than directors elected by the Series E Preferred Stock and the Series F Preferred Stock) and can, to the extent permitted by law, control the vote on substantially all matters, including:

- approval of mergers or other business combinations;
- a sale of all or substantially all of AIG's assets;
- issuance of any additional shares of AIG Common Stock or other equity securities; and
- other matters that might be favorable to the United States Treasury.

The Issuance has been approved by the Board. AIG's directors and executive officers do not hold shares of the Series C Preferred Stock, Series E Preferred Stock or Series F Preferred Stock and will not hold shares of the Series G Preferred Stock. Certain of AIG's directors and executive officers hold shares of AIG Common Stock. As a result, each director and executive officer who holds shares of AIG Common Stock will be eligible to receive Warrants under the Recapitalization along with other holders of shares of AIG Common Stock.

DELIVERY OF DOCUMENTS TO SHAREHOLDERS SHARING AN ADDRESS

Only one copy of this Information Statement is being delivered to multiple shareholders who share a single address, unless AIG has received contrary instructions from any shareholder at that address. This practice, known as "householding", is designed to reduce printing and postage costs. However, if any shareholder residing at such address wishes to receive a separate copy of this Information Statement, he or she may contact the AIG Director of Investor Relations at 180 Maiden Lane, New York, New York 10038, 212-770-6293, and AIG will deliver this document to such shareholder promptly upon receiving the request.

Any such shareholder may also contact the AIG Director of Investor Relations if he or she would like to receive separate shareholder materials and annual reports in the future. If a shareholder receives multiple copies of AIG's proxy materials, he or she may request householding in the future by contacting the AIG Director of Investor Relations.